



2026年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年7月14日

東

上場会社名 株式会社ウィッツ

上場取引所

コード番号 4440

URL <https://www.witz-inc.co.jp/>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 服部 博行

問合せ先責任者(役職名) 取締役

(氏名) 尾関 和磨

TEL 052-957-3331

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年8月期第3四半期の連結業績(2025年9月1日~2026年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年8月期第3四半期	4,297	16.7	586	25.8	606	25.0	411	22.4
2025年8月期第3四半期	3,680	51.0	466	122.1	485	83.6	336	103.7

(注) 包括利益 2026年8月期第3四半期 413百万円(25.0%) 2025年8月期第3四半期 331百万円(95.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年8月期第3四半期	103.08	—
2025年8月期第3四半期	84.48	84.46

(注) 2026年8月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年8月期第3四半期	4,741	3,203	67.3
2025年8月期	4,072	2,837	69.4

(参考) 自己資本 2026年8月期第3四半期 3,188百万円 2025年8月期 2,825百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年8月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2026年8月期	—	0.00	—	—	—
2026年8月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年8月期の連結業績予想(2025年9月1日~2026年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,650	16.3	633	11.7	656	11.5	450	6.1	112.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社 (社名) ー、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2026年8月期3Q	4,176,000株	2025年8月期	4,176,000株
② 期末自己株式数	2026年8月期3Q	176,659株	2025年8月期	187,979株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2026年8月期3Q	3,994,075株	2025年8月期3Q	3,982,304株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は : 無
監査法人によるレビュー

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(四半期連結損益計算書)	6
(第3四半期連結累計期間)	6
(四半期連結包括利益計算書)	7
(第3四半期連結累計期間)	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果もあり、緩やかな回復が続くことが期待される一方、米国の通商政策、中東情勢の緊迫化等によるエネルギー・原材料価格の上昇や物価高の継続が我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、金融資本市場及び為替相場の変動等の影響にも十分注意する必要がある、依然として不透明な状況にあります。

当社グループのソフトウェア事業を取り巻く環境においては、引き続き開発依頼は堅調に推移しておりますが、米国の政策動向及び電気自動車の需要減退を背景とした、取引先におけるEV関連プロジェクトの中止等の影響により、第4四半期連結会計期間以降不透明な状況が続くものと予想されます。当第3四半期連結累計期間においては、自動車向けの売上に關して、主力であります組込みソフトウェアの売上が堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの売上が好調に推移したため、売上高は前年同期比増収となりました。

営業利益においては、役員報酬の支給方針変更による役員賞与の発生、従業員給与水準の引き上げや事業の拡大・推進・強化等を目的とした人員の増強による人件費の上昇、外注費の増加に加え、製品保証関連費用の追加計上、本社における増床関連コスト及び株式会社アグコントロールシステム（以下、AG社という。）の株式取得に伴うアドバイザー費用等が発生したことにより売上原価及び販管費が増加したものの、売上高の増収、受注価額の見直しや高利益率案件の増加等による売上総利益率の上昇が牽引し、販管費増を上回る売上総利益の増加となった結果、前年同期比増益となりました。

経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益においては、保険解約返戻金が減少したものの、営業利益及びGo-Tech事業（成長型中小企業等研究開発支援事業）に係る補助金収入が増加した結果、前年同期比増益となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の経営成績は、売上高4,297,327千円（前年同期比16.7%増）、営業利益586,503千円（同25.8%増）、経常利益606,665千円（同25.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益411,705千円（同22.4%増）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、「その他」については、前第4四半期連結会計期間に新たに連結子会社とした株式会社リザーブマート（以下、RM社という。）及び当第3四半期連結会計期間に新たに連結子会社としたAG社のみが含まれているため、前年同期比増減率及び前年同期額は記載しておりません。

1. ソフトウェア事業

当セグメントにおいては、自動車や産業機器向けの制御ソフトウェアの受託・エンジニアの派遣等を軸とし、これらのソフトウェア開発におけるセキュリティやセーフティコンサルティング、AI（人工知能）を自律化システム等に安全に搭載するためのAIセーフティコンサルティング、ロボットや自動走行車開発等におけるシミュレーション及びモデルベース開発技術の提案・開発・提供、これらの技術に関するノウハウを商材化した製品及びサービスの提供などを行っております。なお、テスコ株式会社、RM社及びAG社以外の連結子会社は、当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、自動車向けの売上に關して、主力であります組込みソフトウェアの売上が堅調に推移したことに加え、シミュレータ・仮想空間技術、セキュリティ及びセーフティの売上が好調に推移したため、売上高及びセグメント利益は前年同期比増収増益となりました。

この結果、売上高は3,593,563千円（前年同期比25.8%増）、セグメント利益（営業利益）は543,874千円（同47.8%増）となりました。

2. センシング事業

当セグメントにおいては、X線透過・CT装置の製造・販売・保守などを行っており、事業の特性上9月及び3月付近に売上が集中し利益貢献する傾向にあります。なお、連結子会社であるテスコ株式会社は当セグメントに含めております。

経営成績の状況といたしましては、X線透過・CT装置など大型案件の需要が高い状況にあり、案件の受注は堅調に推移しております。3月及び4月にX線透過装置における大型案件の納品があったものの、客先との納期調整等の影響により、前年同期と比較し大型案件に係る売上が減少したため、前年同期比減収減益となりました。

この結果、売上高は614,798千円(前年同期比25.4%減)、セグメント利益(営業利益)は31,677千円(同59.7%減)となりました。

3. その他

当セグメントにおいては、RM社及びAG社が含まれております。

RM社は自治体や公共施設、音楽スタジオに向けてクラウド型施設予約システムの開発、保守サービスを提供しております。

AG社は農業分野において、レーザーやGPS技術を活用したマシンコントロール装置の開発、設計及び販売等を行っております。事業の特性上5月から8月は閑散期となり、売上が減少する傾向にあります。なお、当第3四半期連結累計期間に取り込まれたAG社の財務数値は3月から5月の業績となります。

経営成績の状況といたしましては、RM社における施設予約システムの開発収益及び利用料収益、AG社におけるマシンコントロール装置の販売等が堅調に推移したものの、AG社の株式取得に伴うアドバイザー費用等が発生したため、セグメント損失となりました。

この結果、売上高は92,818千円、セグメント損失(営業損失)は16,435千円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、3,465,644千円(前期末比23.2%増)となりました。主な内訳は、現金及び預金2,573,136千円(同19.7%増)、受取手形、売掛金及び契約資産316,067千円(同0.1%増)、商品及び製品228,228千円(同248.0%増)、仕掛品189,721千円(同7.4%減)であります。

固定資産は、1,275,422千円(同1.3%増)となりました。主な内訳は、のれん259,351千円(同2.5%減)、投資有価証券196,590千円(同33.9%減)、有形固定資産138,651千円(同55.4%増)、保険積立金124,343千円(同2.7%増)であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、4,741,067千円(同16.4%増)となりました。

(負債)

流動負債は、1,184,035千円(前期末比30.2%増)となりました。主な内訳は、賞与引当金187,948千円(同31.0%減)、未払法人税等124,130千円(同1.6%増)、買掛金108,543千円(同60.5%増)であります。

固定負債は、353,074千円(同8.8%増)となりました。主な内訳は、退職給付に係る負債255,516千円(同12.5%増)、長期未払金88,019千円(同7.4%減)であります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、1,537,109千円(同24.5%増)となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、3,203,957千円(前期末比12.9%増)となりました。主な内訳は、資本金612,524千円(前期末同額)、資本剰余金560,209千円(前期末比0.4%増)、利益剰余金2,171,737千円(同19.3%増)であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年8月期の連結業績予想につきましては、本日付けで公表いたしました「2026年8月期の連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。また、2026年8月期の配当予想につきましては、2025年10月14日に公表いたしました予想からの変更はありません。

なお、当該連結業績予想及び配当予想の数値につきましては、当社グループが現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,149,108	2,573,136
受取手形、売掛金及び契約資産	315,724	316,067
商品及び製品	65,589	228,228
仕掛品	204,784	189,721
原材料及び貯蔵品	3,603	35,077
その他	74,326	123,413
流動資産合計	2,813,136	3,465,644
固定資産		
有形固定資産	89,237	138,651
無形固定資産		
のれん	265,977	259,351
その他	121,454	147,199
無形固定資産合計	387,432	406,550
投資その他の資産		
投資有価証券	297,588	196,590
保険積立金	121,118	124,343
その他	363,595	409,287
投資その他の資産合計	782,302	730,220
固定資産合計	1,258,972	1,275,422
資産合計	4,072,109	4,741,067

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2026年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	67,617	108,543
未払法人税等	122,217	124,130
賞与引当金	272,570	187,948
製品保証引当金	3,234	30,719
受注損失引当金	564	706
その他	443,525	731,987
流動負債合計	909,729	1,184,035
固定負債		
退職給付に係る負債	227,143	255,516
役員退職慰労引当金	2,401	3,672
長期末払金	95,091	88,019
その他	—	5,866
固定負債合計	324,635	353,074
負債合計	1,234,365	1,537,109
純資産の部		
株主資本		
資本金	612,524	612,524
資本剰余金	557,888	560,209
利益剰余金	1,819,852	2,171,737
自己株式	△162,958	△153,154
株主資本合計	2,827,307	3,191,315
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,936	△2,366
その他の包括利益累計額合計	△1,936	△2,366
非支配株主持分	12,373	15,008
純資産合計	2,837,744	3,203,957
負債純資産合計	4,072,109	4,741,067

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

	(単位：千円)	
	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
売上高	3,680,965	4,297,327
売上原価	2,335,858	2,586,237
売上総利益	1,345,107	1,711,089
販売費及び一般管理費	878,812	1,124,586
営業利益	466,295	586,503
営業外収益		
補助金収入	9,063	13,502
助成金収入	121	1,700
保険解約返戻金	5,039	1,995
保険事務手数料	131	90
受取手数料	903	99
その他	4,985	4,419
営業外収益合計	20,245	21,808
営業外費用		
自己株式取得費用	261	—
為替差損	—	953
保険解約損	—	527
補助金返還額	559	—
減価償却費	250	—
支払利息	—	151
その他	14	13
営業外費用合計	1,085	1,645
経常利益	485,454	606,665
特別損失		
固定資産除却損	1,054	171
特別損失合計	1,054	171
税金等調整前四半期純利益	484,399	606,494
法人税等	151,807	192,153
四半期純利益	332,591	414,340
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△3,834	2,635
親会社株主に帰属する四半期純利益	336,426	411,705

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
四半期純利益	332,591	414,340
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,464	△430
その他の包括利益合計	△1,464	△430
四半期包括利益	331,127	413,910
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	334,962	411,274
非支配株主に係る四半期包括利益	△3,834	2,635

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 2	四半期連結 財務諸表 計上額
	ソフトウェア 事業	センシング 事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	2,856,671	824,294	3,680,965	3,680,965	—	3,680,965
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	2,856,671	824,294	3,680,965	3,680,965	—	3,680,965
セグメント利益 (注) 1	367,943	78,506	446,449	446,449	19,845	466,295

(注) 1. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 2	合計	調整額 (注) 3	四半期連結 財務諸表 計上額
	ソフトウェア 事業	センシング 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	3,589,710	614,798	4,204,508	92,818	4,297,327	—	4,297,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,852	—	3,852	—	3,852	△3,852	—
計	3,593,563	614,798	4,208,361	92,818	4,301,179	△3,852	4,297,327
セグメント利益又は損失 (△) (注) 1	543,874	31,677	575,551	△16,435	559,116	27,387	586,503

(注) 1. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれていない事業セグメントであり、RM社におけるインターネット予約システムの運用及び管理事業等、AG社におけるレーザー・GPS技術を活用したマシンコントロール装置の開発・販売事業等であります。

3. セグメント間の内部売上高又は振替高の調整額は、セグメント間取引の消去額であります。

セグメント利益の調整額は、営業取引と営業外取引の消去時に生じる差額等であります。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

報告セグメントとしていない「その他」において、当第3四半期連結会計期間にA G社の全株式を取得し、連結子会社としております。当該事象によるのれんの発生額は18,454千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれん、顧客関連資産及び技術関連資産を除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額、顧客関連資産償却額及び技術関連資産償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年9月1日 至 2025年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年9月1日 至 2026年5月31日)
減価償却費	42,065千円	53,786千円
のれんの償却額	19,512千円	25,080千円
顧客関連資産償却額	一千円	3,263千円
技術関連資産償却額	一千円	274千円